

『生物学史研究』投稿規定

1. 本規定は、日本科学史学会生物学史分科会が刊行する『生物学史研究』（以下、本誌）への投稿および執筆について定める。
2. 本誌は、『生物学史研究』編集委員会（以下、編集委員会）の責任編集のもとで、年2回発行される。
3. 投稿資格は生物学史分科会会員（以下、会員）とする。ただし、編集委員会が特に認めた者はこの限りではない。
4. 本誌に掲載される原稿は未発表で、生物学史研究に貢献するものとする。
5. 投稿原稿の類別は、論文、研究ノート、資料、書評、研究動向等とし、著者が類別を指定する。共著の場合、筆頭著者は会員であることとする。また、単著者または共著論文筆頭者の原稿は、論文または研究ノートとして同じ号に2本以上掲載しない。
6. 投稿原稿の採否は編集委員会が決定する。ただし論文については、編集委員会が委嘱した査読者による審査結果を参考に、採否を決定する。
7. 原稿は3部提出し、投稿者は必ず原稿の控えを手許に保管する。投稿の際には投稿票1部を記入の上、同封する。投稿票は『生物学史研究』からコピーするか、生物学史分科会ホームページからダウンロードしてプリントする。掲載決定後、原稿のデータを電子メールかフロッピーディスク等記録媒体で提出する。原稿およびデータは編集委員会宛に送付する。
8. 掲載された論文、研究ノートについては別刷50部、そのほかの類別については別刷20部を著者に贈呈する。掲載原稿は返却しない。
9. 執筆要領
 - (1) 原稿は日本語、横書きとする。
 - (2) 原稿の分量は、400字詰め原稿用紙で論文、研究ノート、資料は50枚(20,000字)を一応の限度とする。書評、研究動向は10枚(4,000字)を一応の目安とする。
 - (3) 論文、研究ノート、資料については、著者の所属機関名など連絡先、3件以上5件以内の日本語のキーワードを脚注に記す。ただし、論文についてはキーワードの英訳も併記する。
 - (4) 論文、研究ノート、資料については、英語題目を、さらに論文には250語以内の英語要旨をつける。英語題名および英語要旨は、あらかじめ英文の校閲を経た上で提出することが望ましい。
 - (5) 著者校正は初校のみとする。校正は最小限度の訂正にとどめ、指定された期日以内に返送する。
 - (6) 注・引用文献、および、参考文献一覧は原稿枚数の中に含める。図表、写真は縮尺率を考慮

して原稿枚数内に収める。

(7) 図表は、それぞれ別紙に作成し、通し番号(図1、図2、表1、表2)、表題、キャプションなどを記載する。写真には、それぞれ通し番号、表題、キャプションなどを添付する。図表や写真を挿入する場所と縮尺率を原稿中に記載する。図表や写真によっては、掲載に伴う費用の自己負担を著者に求める場合がある。

(8) 読点は「、」、句点は「。」を用いる。

(9) 数字は引用文の場合のほかは算用数字を用い、欧語は活字体で記す。

(10) 外国人名や外国地名は、初出の際にその原綴りを示す。西洋年記以外の年記を使用する場合には、昭和5(1930)年のように書く。

(11) 文中の引用文は「」の中に入れる。長い引用文は本文より2字下げて記入する。

(12) 章・節の番号としては、通し番号1、2、…など算用数字を用いる。注および文献一覧は本文の最後にまとめて記載する。

(13) 注・引用文献の記載は以下の例に準じる。参考文献一覧を作成する場合は著者名を音順(アルファベット順または五十音順)に配列し、雑誌論文は掲載頁を明示する。

①松永俊男「マイヴァートのダーウィニズム批判」『生物学史研究』1999;64:p25

②Olby, Robert “The dimensions of scientific controversy: The biometric-Mendelian Debate.” *British Journal for the History of Science*, 1989;22: pp299-300.

③中村禎里『血液循環の発見——ウィリアム・ハーヴィの生涯』岩波書店,1977;pp27-28.

④Provine, William B. *The origins of theoretical population genetics*. Chicago ; London: University of Chicago Press,1971,p32.

⑤Bowler, Peter J. *Evolution: The history of an idea*. Berkeley : University of California Press,1984,p33. 鈴木善次ほか訳(1987)『進化思想の歴史 上』朝日新聞社,1987,p.42.

(①、②は雑誌論文の例、③、④、⑤は単行本の例)

10. 本規定は、2006年12月4日から適用する。